

令和2年度静岡県高等学校新人大会バドミントン競技

学校対抗 令和2年10月17日(土)・18日(日) 沼津市民体育館
個人戦 令和2年10月24日(土)・25日(日) 静岡市立清水桜が丘高校

男子学校対抗

優勝 星陵高校

準優勝 富士見高校

3位 科学技術高校

女子学校対抗

優勝 星陵高校

準優勝 常葉大菊川高校

3位 藤枝西高校



男子優勝 星陵高校



女子優勝 星陵高校

男子学校対抗 優勝校 コメント 星陵高校バドミントン部 部長 佐野覚斗

今回の学校対抗で優勝することは、自分の目標でもあり、部活全体の目標でもあったので優勝することが出来てとても嬉しいです。今回の大会はいつもとは違い、新型コロナウイルスの影響でマスクをし、声を出さない応援をしなければいけません。プレーをしている中で仲間の声援からいかに力をもらっているか実感しました。例年とは違うとても厳しい状況の中で、部員全員が一丸となり目の前の試合に全力で戦うことができたことが優勝につながったと思います。

団体戦というのはチームで戦っているのだから、自分の出る1試合の責任の重さをとても感じました。しかしまだ、この結果には満足していません。これからの練習で個々の出た課題を克服し、もっと伸ばしたほうがいいところなど、向上するべきことがたくさんあるので、出来ない事はしっかりと修正し次の大会である東海選抜大会や来年のインターハイに向けて練習をこれまで以上に頑張り団体として全国の舞台に立ちたいと思います。

昨年度も県大会で優勝することが出来たのですが、新型コロナウイルスの影響で試合が無くなり全国大会の舞台でプレーすることができませんでした。去年の悔しさを忘れることが出来ません。今年は去年出られなかった先輩たちの想いを背負いどの試合でも全力でプレーしたいです。

ここまでバドミントンに携わることができたのはサポートしていただいている両親や、指導していただいている先生方、部員のみんなの助けがあるからです。感謝の気持ちをもって日々精進していきたいです。

女子学校対抗 優勝校 コメント 星陵高校女子バドミントン部 部長 内田真緒

今回の学校対抗の部でチームの目標の一つであった優勝を勝ち取ることができ嬉しく思います。円陣や声を出しての応援ができないという条件の中でしたが、試合に出る人もそれを応援する人も同じ姿勢で全員で戦うことができていたと思います。一方で、仲間が試合を落としてしまったときにチームの雰囲気があまり良くない時もあり、また勝った試合でも個々の課題がたくさん見つかりました。誰かが取られてもそれを取り返すつもりで戦い、全員が最後まで向かっていくチームとしての戦い方や個々の課題は、次の東海選抜やインターハイに向け日々の練習でそれぞれが向き合っていきたいです。去年までは私たちは先輩についていくばかりで、団体も先輩が二つの試合を兼ねたり勝負のかかった場面で戦い続けていました。新チームになりこれからはもっと勝負のかかった場面はたくさんあると思います。

今回の試合を通し、私はそのようなもっとプレッシャーのかかった場面でもチームのために一勝を挙げて、チームを勝ちに導くようなプレーをし、引っ張って行けるような存在になっていきたいと強く思いました。

これからも先生方が指導をくださり、たくさんの仲間と部活ができる環境をあたりまえだと思わず、感謝の気持ちを持ち、次もしっかりと結果を出せるように日々の練習に取り組み努力していきたいです。

1年男子ダブルス

優勝 日野 堅斗・加賀美 知希 (浜名)

準優勝 加賀美 諒介・山本 阜晟 (加藤学園)

3位 舘林 蒼空・山口 拓真 (伊豆総合)

3位 村松 虎太郎・小沢 風太 (浜名)

1年女子ダブルス

優勝 興津 和花菜・森田 夏希 (静岡商)

準優勝 滝浪 茉莉奈・牧野 彩萌 (静岡市立)

3位 大谷 遼花・徳本 優月 (掛川東)

3位 寺田 羽来・梶山 珠里 (静岡商)

1年男子シングル

優勝 河角 遼佑 (富士東)

準優勝 三橋 優翔 (加藤学園)

3位 舘林 蒼空 (伊豆総合)

3位 鈴木 一颯 (浜名)

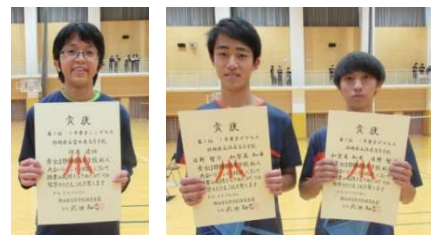
1年女子シングル

優勝 興津 和花菜 (静岡商)

準優勝 鈴木 美々 (浜名)

3位 村松 里咲 (富士宮東)

3位 福世 愛 (藤枝北)



1年男子シングルス・ダブルス優勝



1年女子シングルス・ダブルス優勝

2年男子 **優勝 佐野 覚斗 (星陵)**

シングル 準優勝 遠藤 友峻 (富士見)

3位 野村 優輝 (富士)

2年男子 **優勝 佐野 覚斗・鈴木 翔琉 (星陵)**

ダブルス 準優勝 井出 祐次郎・小澤 勇斗 (富士見)

3位 遠藤 友峻・遠藤 龍 (富士見)



2年男子シングル 優勝者コメント 星陵高校男子バドミントン部部長の佐野覚斗です。

今回の個人対抗では、自分の目標であったシングルスで優勝することができました。個人戦は団体戦とは異なり、一度負けてしまったらもう次がありません。個人戦で優勝できたということは、団体戦とはまた違った喜びがあります。

今回の大会ではたくさんの課題ができました。自分のシングルのプレーにはまだ納得ができていません。これからの練習で自分の出来なかったところを徹底的に練習し、次の試合である東海選抜までしっかりと修正し全国の舞台に立ち勝てるように努力していきます。去年も東海選抜に出場することが出来たのですが、惜しくも4位という結果で終わってしまい、全国選抜の出場権を得ることができず、とても悔しい思いをしました。今年こそは東海選抜を勝ち抜いて全国選抜に出場したいと思います。3年生の先輩方は全国選抜へ出場する権利を獲得したにも関わらず、新型コロナウイルスの影響で全国での舞台でプレーする機会を失ってしまいました。そんな先輩たちの気持ちにも答え自分の力を存分に発揮できるように頑張りたいです。

これからも、さらに練習に熱心に励み、さらに実力を向上させ努力していきたいです。コートに立って練習できる事は決して当たり前のことではありません。毎日練習できることに日々感謝し邁進していきたいです。

2年男子ダブルス 優勝者コメント 星陵高校男子バドミントン部二年の鈴木翔瑠です。

僕は男子ダブルスで優勝することができました。この結果は決して自分だけの力ではなく、パートナーである部長の佐野覚斗くんの力や、指導してくださっている先生たちや、私生活などでたくさんのサポートをしてくださっている父母。応援してくださっているOB・OGの方など、たくさんの人の力があって勝ち取ることでできた優勝だと思っています。まずは支えてくださった人たちにこの場を借りて感謝の気持ちを伝えさせてください。ありがとうございました。

今回の新人戦のダブルスで目標だった優勝をすることができた事はとても嬉しいですが、内容は満足出来るものではなかったと思いました。ミスが減らすこと・レシーブ力をつけること・アタックのスピードやパワーを上げることなど、たくさんの課題が試合を通して見つかりました。今回の試合の結果で満足せずに次の東海大会や、自分たちの最後の舞台となるインターハイで目標であるベスト8の達成に向け、チーム一丸となって頑張っていこうと思います。そして、次の東海大会では県大会以上に厳しい戦いになると思いますが、静岡県の代表としては出場するので、みんなの期待や思いを背負い、一球一球魂を込めて戦ってくるので応援の方よろしくをお願いします。

2年女子 **優勝 内田 真緒 (星陵)**

シングル 準優勝 荒井 茉奈加 (星陵)

3位 高橋 理帆 (星陵)

2年女子 **優勝 内田 真緒・高橋 理帆 (星陵)**

ダブルス 準優勝 荒井 茉奈加・島岡 凜 (星陵)

3位 平岡 萌・平岡 遥 (伊東)



2年女子シングル 優勝者コメント 星陵高校バドミントン部二年の内田真緒です。

今回の2年女子シングルスではダブルスと同様自分の課題が多く見えた試合でした。一試合目から自分の力をしっかりと出して戦うことや相手によって戦い方を自分で変えていくことなど、もっと最初から自分のプレーで相手を上回り点を取りに行く積極性のあるラリーをできるよう意識して取り組んでいきたいです。最終的な目標はここではないので今の自分に満足することなく、ここで止まらず、自分と向き合い練習に励んでいきます。今回の新人戦は長い休校期間や試合がない期間を超えての大会で、大会が開催されることが当たり前でないことや試合の特別さをより強く感じる事ができました。次に繋がった東海選抜では、私たちがコートに立つことができるまで準備を行ってくれた人への感謝の気持ちを忘れず、私たちが県で戦ってきた人たちの思いも背負い、戦いたいと思います。

2年女子ダブルス 優勝者コメント 星陵高校バドミントン部二年の高橋理帆です。

今回の2年女子ダブルスでは目標としていた優勝という結果を残すことができましたが、試合内容を見るとまだまだ課題がたくさんありました。攻撃力やプレーごとの切り替え、相手をよく観察することなど、見つかった課題を次の東海選抜に向け修正していき、もっと攻撃力のある力強いダブルスを目指し攻め勝てることを意識して練習していきたいです。常にパートナーと共通の意識を持ち二人で組むことができることを当たり前だと思わず、パートナーに感謝の気持ちを持ち、お互いの良さを引き出しあい二人で試合をつくっていけるようにしたいと思います。公式戦が9か月ぶりということで、試合でしか味わえない気持ちや試合でしか気づくことのできないことに気づくことができました。改めてコロナの状況で制限されることはあるけれどこうして試合ができる環境がどれだけ幸せなことなのかを理解し、周りの関わってくれている全ての人に感謝の気持ちを忘れずにプレーしたいです。私たち二年生の残りの試合は選抜・インターハイだけとなっているので、それぞれの試合で悔いの残らないよう、団体も個人も一つ一つに自分たちの全てをかけた楽しむことを忘れずに戦い抜きたいです。結果を残せるように日々の練習を大切に、自分を大きく成長させたいです。